

琵琶湖疏水魅力PR事業について (日本遺産、文化観光推進法及びびわ湖疏水船)

明治23年の竣工から130周年を迎えた令和2年6月に、琵琶湖疏水が日本遺産に認定され、同年11月には、文化観光推進法に基づく「琵琶湖疏水記念館を中核とする文化観光拠点計画」が国に認められました。また、びわ湖疏水船も2020年秋運航において乗船率が9割を超えるなど、琵琶湖疏水が多くの注目を集めています。

京都市上下水道局では、この機会を捉えて、従来のびわ湖疏水船事業に加え、日本遺産及び文化観光推進法に係る国庫補助も活用し、琵琶湖疏水の更なる魅力向上及び情報発信の強化に努めてまいります。

1 日本遺産及び文化観光推進法に係る各補助事業の関係



2 日本遺産補助事業について

(1) 事業目的

琵琶湖疏水における受入環境の整備等を通じて、琵琶湖疏水沿線を、先人たちの尊い功績を称え、それに学ぶ一体的なフィールドミュージアムとして整備し、「舟に乗っても、沿線を歩いても楽しめる」琵琶湖疏水の魅力向上と情報発信の強化を図ります。

(2) 事業期間

令和2年度～令和4年度

(3) 事業内容（主なもの）

ア ハード整備事業

- ・ 大津閘門の琵琶湖疏水通船への活用に向けた改修
- ・ 琵琶湖疏水沿線の橋梁における受入環境整備
- ・ 琵琶湖疏水の水路・石積み等の調査及び環境整備 など

イ ソフト事業

- ・ パンフレットの作成
- ・ 観光案内板等の整備
- ・ 日本遺産特設サイトの作成
- ・ 案内ガイドの人材育成
- ・ 琵琶湖疏水関連資料の調査
- ・ 誘客促進プロモーションの実施 など

3 文化観光推進法補助事業について

(1) 事業目的

琵琶湖疏水記念館の屋外スペースの改修及び来館者の利便性向上策等の実施によって、新たな魅力の創出とそれに伴う集客力の向上並びに情報発信力の強化を図り、琵琶湖疏水フィールドミュージアムの情報発信拠点としての役割を強化します。併せて、観光案内機能を充実させることで、蹴上・岡崎地域における観光拠点としての整備も推進し、文化観光スポットとしての地域全体の魅力向上、活性化を図ります。

(岡崎・蹴上エリアマップ)



(2) 事業期間

令和2年度～令和6年度

(3) 事業内容（主なもの）

- ・琵琶湖疏水の新たな魅力創出事業
- ・琵琶湖疏水記念館運営アドバイザーの登用
- ・展示解説文の多言語・デジタル対応
- ・琵琶湖疏水フィールドツアーの実施
- ・キャッシュレス決済の導入
- ・デジタル技術を活用した観光案内機能の充実
- ・館内Wi-Fiの整備
- ・屋外テラスのイベント活用事業
- ・屋外スペースのイベント活用促進のための改修及び屋根・外壁の美装化 など

4 びわ湖疏水船の運航について

(1) 2021年春シーズン運航日程

3月27日（土）～6月27日（月）の70日間（※運休日あり）

(2) 事業スケジュール

3月 3日（水） 広報発表
3月 5日（金） 販売開始
3月27日（土） 運航開始

(3) 2020年運航実績

	運航日数	乗船者数	乗船率
春シーズン 3/28- 4/6 ※	9日	1,011名	74.9%
秋シーズン 10/1-11/30	46日	5,386名	93.4%
通年計	55日	6,397名	89.8%

※新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令に伴い、4/7-6/27の間運休

